

伊藤忠丸紅子会社のニッコー

# ロシアに鋼管加工会社

## 建機向け需要捕捉

### パッケージで関連部材供給

伊藤忠丸紅鉄鋼は先週7日、100%出資の事業会社である鋼管特約店ニッコー（本社・千葉県浦安市）がロシアのトゥヴェリ州に建設機械用鋼管加工・販売会社を東海ゴム工業や木原製作所とともに設立すると発表した。来年4月に営業開始予定。関連部材のパッケージ供給体制を構築し、現地にある建設機械メーカーの中型油圧ショベル向け需要を捕捉する。

設立する会社は「ニッコーTRIユーラシア（NIKKO TRI Eurasia）」の出資構成はニッコー50%、伊藤忠丸紅鉄鋼本体25%、東海ゴム工業20%、木原製作所5%。伊藤忠丸紅鉄鋼にとっては、国内事業会社が海外事業に直接、主体的に参画する初めてのケースとなる。

ロシアにおける建設機械需要は、インフラ整備やエネルギー資源

開発向けなどで今後も堅調な推移が見込まれている。トゥヴェリ州はモスクワの北西に位置し、伝統的に機械産業が盛んな地域。現地に在庫加工拠点を設立することで、建設機械メーカーのニーズに対応していく。

新会社では、ニッコーが国内で行っている建設機械向け構造用鋼管の在庫・加工機能ノウハウをベースに、出資パートナーの東海ゴ

ム工業と木原製作所の得意事業分野である高圧配管の加工・販売も手がかりで、現地需要を取り込む。

ロシアにおける建設機械需要は、インフラ整備やエネルギー資源

開発向けなどで今後も堅調な推移が見込まれている。トゥヴェリ州はモスクワの北西に位置し、伝統的に機械産業が盛んな地域。現地に在庫加工拠点を設立することで、建設機械メーカーのニーズに対応していく。

新会社では、ニッコーが国内で行っている建設機械向け構造用鋼管の在庫・加工機能ノウハウをベースに、出資パートナーの東海ゴ